

DIG HISTORY

この進化はすべてのギタリストのために。

■ Deep Bowl and Shallow Bowl

オペレーションのギターには、ディープボーカリヤローボールの2種類の厚みを持つ鋼があります。ディープボールは厚みが155mmで、アコースティックギターのあわゆる要素を備え、絶妙の音域にわたって深くし込み込むようなサウンドが特徴です。シャローボールはディープボールより浅く、厚みは130mm。華やかな高音、力ある中音が特徴です。特に、リードプレイヤーが求める高音の切れの良さは素晴らしい、スタイルやレコードティングに最適です。オペレーションのギターを大きく分けると、アコースティック、ブースティック、エレクトリックがあります。さらにオペレーションの低価格帯としまって、アーティックス、アプローズがあり各種ともディープボルトとシャローボールがあり、その使用目的によって選ぶことができます。

■ Acoustic Electric Guitar Pickup System

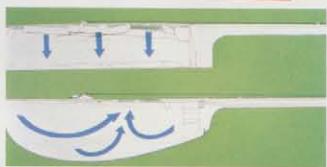
現代のアコースティックギターは、アコースティックの音を保ちながらより大きい音量が要求されるようになってきました。しかし、通常のアコースティックギターでは到底、電子楽器の音とは太刀打てはできません。この問題に取り組んだオペレーション技術は、独自のピックアップ装置を開発。弦の振動を表甲へ伝える重要なサドル部分に、生の音をそのまま再生する6個の電池式ピックアップ、ヒエゾエレクトリック・ピックアップを装備しました。各々のピックアップが弦の振動を拾い、全体で表甲の暖かく味のある音を伝えるこのシステムにより、オペレーション・エレクトリック・アコースティックギターは、今までの、マイクでギター音を拾う方法では得られないかった、生の音そのものの再生を可能にしたのです。内蔵の電池式FETアリアンプは、不要なノイズや周波数を排除。さらに、フィードバックをコントロールする、2つのフィルターを採用。クリアなハイペース、メローなドルレーン、深いものもあるベース・ストーンを、「バランス」はアンプリファイするピックアップ・システムが、豊かな生の音を伝えます。

■ Control Knob

オペレーション・アコースティック・エレクトリックギターの音量と音質の調整は、2重になったツマミでそれを行います。中側のツマミがボリューム調整で、0~10までの目盛があります。外側のツマミはトーンコントロールで、低音から高音までが一つのツマミで調整できるようになっています。



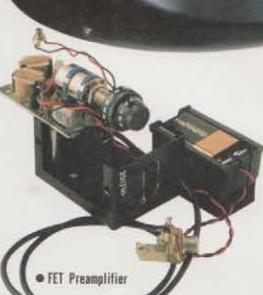
● Control Knob



• Deep Bowl



● Shallow Bowl



1

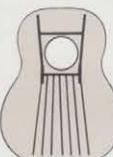


• Output Jacks

何百年も人々に愛され、数多くの名曲を生んだギターにも、設計上あるいは構造上に避けられない問題点があります。ギターの心臓部とも呼べるボディは、表甲と側板が互いに平面でしかもL字状であること、補強用の力木などに影響され、音がボディの中で自閉してしまうこと。そして、天然木の板が少なからず音を吸収して、弦で弾き出された音が生のまま届かないなどの点です。今、ユニークなギターとしてミュージシャンの熱い視線を集めているオーベーション・ギターは、まさにこれらの問題点を解決したことからその第一歩を踏み出したのです。1966年、航空機技術者であり、優れたギター・プレイヤーでもあったチャールズ・カーマンは、本業のヘリコプター建造で培った、振動と音響技術を応用して、まったく新しい形狀と構造のボディを持つギターを開発しました。これが、画期的なギター、今までのギターの問題を解決したギター「オーベーション」の誕生だったのです。ボディ材は、軽く、しかも強度を持ツファイバーグラス「リラコード」(特許)で成形。L字状解消のために、精円形を帯びたボル型のボディ・スタイル「ラウンド・バック」(特許)を採用。そして、天然木の表甲には、独自のブレインシング・パターンで配列した力木を取り付け、さらに最高の振動特性を得るため、ネック部からブリッジにかけて薄くテープをつけてあります。ボディにはL字がなく、裏甲には從来のギターのように補強用の力木もなく、カーマンの狙いであった透明な音質がストレートに弾き出されます。特許の材質「リラコード」で成形したラウンド・バックは、音を一切吸収せずに、生きた音をそのまま伝えることができます。このように、音質にこだわるあらゆる面に先進の技術を凝らしたオーベーション・ギターは、新しい音楽の歴史を創りあげ、さらには進化を続いているのです。

■ オペーション・ブレイシング・パターン(カ木の配列) キ

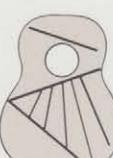
ギターにおける音の振動を究明し尽したオペレーション技術陣は、理論に加えて、著名なギタリストであるグレン・キャンベルの協力を仰ぎ、ここに6種類の異なるギターの音色を作り出した。数値だけでなく、音楽家による音の検査も重要視しきわけである。アラカミアンシカスブルースを使用した表中に、6つのタイプのブレイング・パターン(力本の配列・パターン)を記載して、6種類の違ったギター・サウンドを引き出した、オペレーションギター。演奏される音楽の種類、そして演奏法などの違いを微妙に配慮したこの6種類のブレイング・パターンが、オペレーション・ギターをさらに優れたギターに削り上げていると言ふまでない。



Ovation



Ovation VT-10



Question 117



— 11 —



Ovation >



Ovation Fan